

-----7月20日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (7/20~7/24)

先週は、ギリシャ問題、中国株問題などが一旦落ち着きを取り戻し、ドル高の流れが幾分進みました。

米国経済指標などに比較的良いものも多く、ドルを買い戻す動きが出ているようです。

今週は、もう一段ドル高の流れが続くのか、それとも綱引き的な動きとなってしまうのか、見方が分かれるところだと思います。

ユーロドルがこのところのサポートラインである1.08付近に迫っており、ここを割ってしまうかどうか、ドルの買い戻しにも大きく影響しそうです。

先週ドル円は、米国経済指標の良好な結果に反応し、124円を超えたまま週末を迎えています。

今週は、もう一段のドル高を狙いたいところですが、ユーロドルの下落による影響も大きく、このところのユーロドルのサポートラインである1.08付近で折り返してしまった場合には、一度、ドル買いの流れは落ち着いてしまう可能性もあるように思います。

また、ギリシャ問題、中国株問題も一旦落ち着いたに過ぎず、リスクオフムードがいつ再燃してもおかしくない状況は続いているように思います。

ドル円の予想レンジは122.5円から125.5円です。

先週ユーロは、買い戻しの流れが一段落して再び下落トレンド入ってしまったようです。

今週、ユーロ円で133円、ユーロドルで1.08付近のサポートラインを割り込んでしまうと、大きく下落する危険性が潜んでいるように思います。

ギリシャのユーロ離脱回避を好意的に受け止める反面、「損切りできなかった不良債権への追い貸し」との見方もあり、ユーロ圏全体に与える影響が気になります。

ユーロ円の予想レンジは131円から136円です。

ポンド円は、196円付近のレジスタンスブレイクに行く雰囲気は漂わせてはいますが、ドルの買い戻しの流れが強く、上昇気流に乗り切れていない状況のようです。

今週は、もう少し力を溜め込む週となる可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは190円から196円です。

今週は、全般的にはもう一段リスクオンムード広がる可能性が高いようには思いますが、中国株や原油下落の動きが非常に気になります。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。